

Canon

 **imageFORMULA**
DR-P215

ユーザーマニュアル (基本操作編)



- ご使用前に必ず本書をお読みください。
- 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

目次

安全にお使いいただくために.....	3
設置する場所について.....	3
ACアダプター（別売り）について.....	3
本機の移動について.....	3
日常の取り扱いについて.....	4
廃棄する場合について.....	4
箱の中身を確認する.....	5
CaptureOnTouch Lite でスキャンする.....	8
スキャナーをコンピューターに接続する.....	8
スキャナーの電源を入れる.....	8
CaptureOnTouch Lite を起動する.....	9
原稿をセットする.....	10
スキャン方法を設定する.....	10
原稿をスキャンする.....	12
スキャンが終わったら.....	13
トラブル Q & A.....	14
保証とアフターサービス.....	17
修理受付窓口.....	17
サービス&サポートのご案内.....	18

免責事項

本製品を用いて読み取る原稿、または読み取った画像イメージの保管や管理についてはお客様の責任で行ってください。

また、読み取った原稿を破棄する場合は、必ず、読み取り画像イメージをしっかりと精査し、欠落のないことを確認した上でお客様の責任において行ってください。

なお、当社が本製品に対して行う保証は、いかなる場合においても本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。予め、ご了承ください。

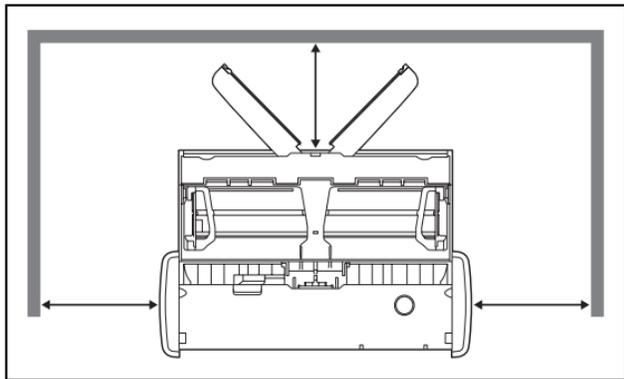
安全にお使いいただくために

本機を安全にお使いいただくため、以下の項目についての注意事項を必ずお読みください。

設置する場所について

本機の性能は、設置されている環境によって影響を受けることがあります。設置する場所が、次の環境条件に合っていることを確認してください。

- 本機の周りには操作、保守、換気のためのスペースを十分確保してください。



- 本機前方に読み取った原稿を排紙するためのスペースを十分確保してください。
- 直射日光が当たる場所は避けてください。やむをえない場合は、厚いカーテンなどで日光をさえぎってください。
- ほこりの多い場所は避けてください。ほこりは本体内部に悪影響を及ぼすことがあります。
- 水道の蛇口、湯沸器、加湿器など高温、多湿になる場所の近くや、アンモニアガス、シンナーなどが発生する場所は避けてください。
- 不安定な場所や、振動しやすい場所は避けてください。

- 温度が急激に変化する場所は避けてください。本体内部で結露が発生すると、品質低下の原因になります。以下の環境下でお使いください。
室温 15℃～32.5℃
湿度 25% (RH)～80% (RH)
- スピーカーやテレビ、ラジオなど磁気が発生する機器の近くは避けてください。

ACアダプター（別売り）について

- 指定された AC アダプター（別売り）以外は使用しないでください。また、本製品用の AC アダプター（別売り）を他の製品に使用しないでください。
- USB ケーブル 1 本による USB 2.0 接続の場合で、高速に動作させたい場合は AC アダプター（別売り）をご購入ください。
- 電源について不明な点があるときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

本機の移動について

- 本機を移動する場合は、本機を落とさないように必ず両手でしっかり持ってください。
- 本機を移動する場合は、USB ケーブルや AC アダプター（別売り）を、必ず外しておいてください。ケーブル類を付けたまま持ち運ぶと、無理な力が加わってプラグやコネクターが損傷することがあります。

日常の取り扱いについて



警告

本製品をお使いになるときは、次の警告をお守りください。これらは火災や感電の原因になります。

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くには設置しないでください。
- USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。
- 濡れた手でUSBケーブルおよび給電用USBケーブルを抜き差ししないでください。
- USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを結んだり、束ねたりしないでください。電源プラグは奥まで確実に差し込んでください。
- 付属の USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブル以外は使用しないでください。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
- 本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。
- 清掃の際は電源を切り、USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを抜いてください。
- 本機の清掃には、水を含ませて固くしぼった布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。
- 異常音、発煙、発熱、異臭があったり、電源を入れても機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに電源を切り、USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一、本機が破損した場合は、直ちに給紙トレイを閉じて電源を切り、USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を移動させる場合は、必ず給紙トレイを閉じて電源を切り、USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを抜いてください。



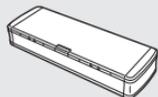
注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定な場所や、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 本機の上には、クリップ、ステイブルの針、ネックレスなどの金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ると火災や感電の原因になることがあります。万一、これらが本機の中に入ってしまった場合は、直ちに給紙トレイを閉じて電源を切り、USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを抜いてください。そしてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 本機の上には物を載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。
- USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを抜くときは、必ずコネクタを持って抜いてください。USB ケーブルを引っ張ると、芯線の露出、断線などで、USB ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでもUSBケーブルおよび給電用USBケーブルが抜けるように、USBケーブルおよび給電用 USB ケーブルの周りには物を置かないでください。非常時にUSBケーブルおよび給電用 USB ケーブルが抜けなくなります。
- 本機の内部に、水や引火性溶剤（アルコール、シンナー、ベンジンなど）をこぼさないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ず USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを抜いてください。
- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っ掛かりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれてけがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などはご注意ください。万一、巻き込まれた場合は、直ちに電源を切って機械を停止してください。
- 原稿をセットするときや、詰まった紙を取り除くときは、慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。

廃棄する場合について

本機を廃棄するときは、必ず法律およびその地域の条例に従って廃棄するか、お買い求めの販売店にご相談ください。

箱の中身を確認する



スキャナー本体



USB ケーブル
USB 3.0 Type A/
USB 2.0 Micro B
(長さ：1.8 m)



給電用 USB ケーブル



ユーザーマニュアル
(基本操作編)



保証書



セットアップディスク
(DVD-ROM)

- 付属品は予告なく変更されることがあります。
- 梱装箱および梱包材は本機の保管や輸送の際に必要となりますので、捨てないで保管してください。

本書について

本書では、スキャナーに内蔵されているソフトウェア CaptureOnTouch Lite を使用したスキャン方法についてのみ説明します。

本製品に付属している他のソフトウェア (CaptureOnTouch、スキャナードライバー、その他のバンドルソフトウェア) については、同梱のセットアップディスクに収録されている『ユーザーマニュアル (機能詳細編)』を参照してください。

USB ケーブルについて

同梱の USB ケーブルは、本製品専用です。本製品以外の機器に使用しないでください。

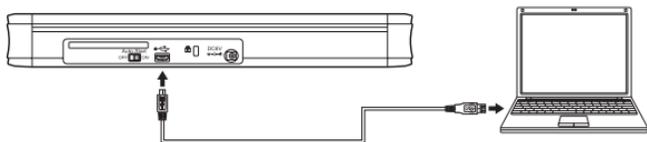
また、本製品とコンピューターとの接続に、同梱の USB ケーブル以外のケーブルを使用すると、正常に動作しないことがあります。必ず同梱の USB ケーブルを使用してください。

電源について

本機は、同梱の USB ケーブルから電源を取ります。
(スキャナーとの接続に使用するコンピューターの USB コネクタには、500mA の電源が供給されている必要があります。)

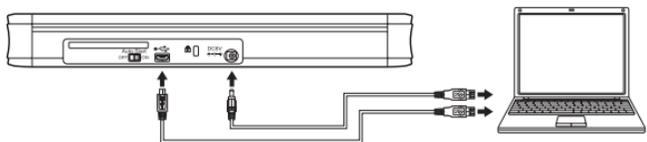
USB ケーブル 1 本の場合

電源がないところでも、USB ケーブル 1 本によるバスパワー駆動でスキャンできます。USB 3.0 に対応した USB ポートに接続したときは、900mA のバスパワー駆動となり、高速にスキャンできます。



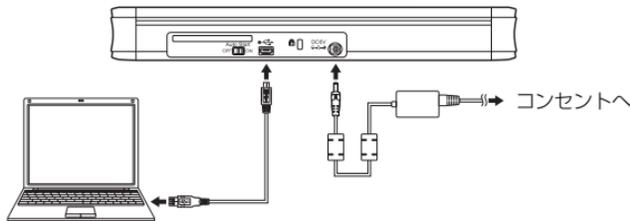
USB ケーブル 2 本の場合

USB 2.0 に対応した USB ポートを使用しているときでも、給電用 USB ケーブルを併用することで、より高速にスキャンできます。



AC アダプター (別売り) を使用する場合

USB ケーブル 1 本の場合で、高速に動作させたい場合は、AC アダプターをご購入ください。



スキャナーを使用しないときは

スキャナーの給紙トレイを閉じるか、USB ケーブルを抜いてください。

USB ハブの使用について

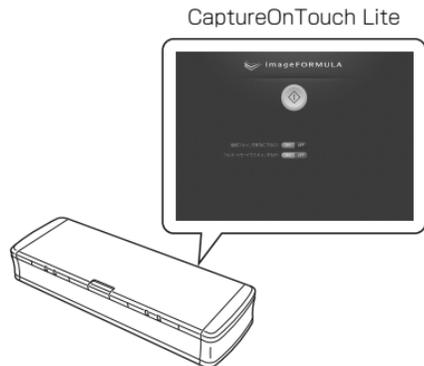
本機は、バスパワータイプの USB ハブを介してコンピューターに接続して使用することはできません。セルフパワータイプの USB ハブは使用できますが、動作を保証するものではありません。

使いかた

本機は、背面の Auto Start スwitch の切り替えにより次の 2 つの使い方ができます。

Auto Start スwitch 「ON」 で使用する場合

スキャナー本体内蔵のソフトウェアでスキャンする



本機には CaptureOnTouch Lite が内蔵されています。したがってスキャナードライバーがインストールされていないコンピュータでもスキャンが可能です。スキャンした画像は、スキャナーを接続したコンピュータの任意の場所に保存できます。

→ 8 ページ「CaptureOnTouch Lite でスキャンする」

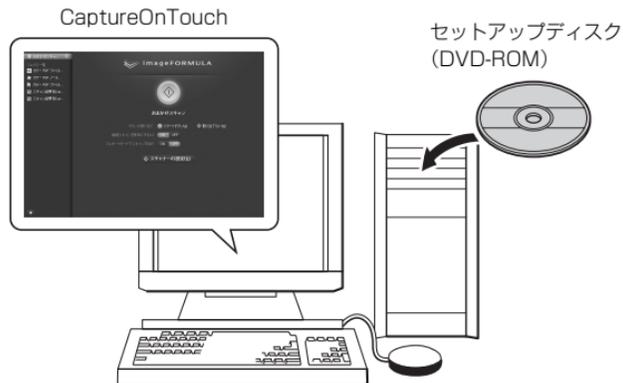


ヒント

スキャナーに内蔵されている CaptureOnTouch Lite のみを使用する場合は、ソフトウェアのインストールは不要です。

Auto Start スwitch 「OFF」 で使用する場合

同梱のソフトウェアをインストールしてスキャンする



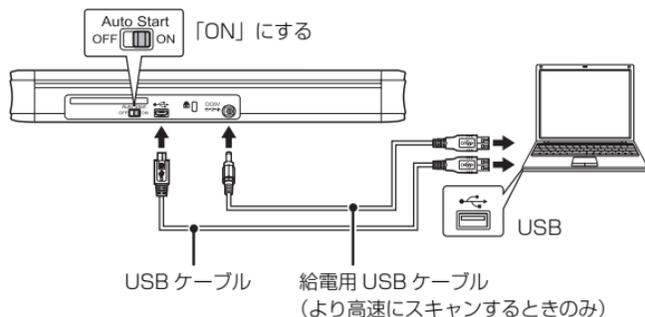
ソフトウェアセットアップディスクに収録されているスキャナードライバーをインストールすることで、同梱の「CaptureOnTouch」などのアプリケーションをご利用頂けます。

詳細は『ユーザーマニュアル (機能詳細編)』(同梱のセットアップディスクに収録)を参照してください。

CaptureOnTouch Lite でスキャンする

1. スキャナーをコンピューターに接続する

- ① コンピューターの電源を入れます。
- ② スキャナーの Auto Start スイッチを「ON」の位置にセットします。
- ③ 付属の USB ケーブルで、スキャナーとコンピューターを接続します。(必要に応じて給電用 USB ケーブルも接続してください。)

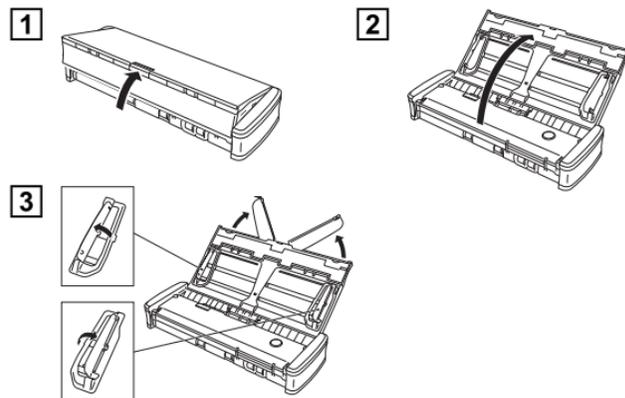


接続時の注意

- アプリケーション (同梱の CaptureOnTouch など) で本機を使用するときは、Auto Start スイッチは必ず「OFF」の位置にする必要があります。
- 上記の順で接続しないと、コンピューターが起動できないことがありますので、注意してください。
- Auto Start スイッチの切り替えは、コンピューターに接続する前に行ってください。コンピューターに接続した後で Auto Start スイッチを切り替えると正常に動作しないことがあります。

2. スキャナーの電源を入れる

本機は、給紙トレイの開閉に連動して電源が入ります。



- USB ケーブルを接続して給紙トレイを開くと、スタートボタンがゆっくり点滅することがあります。点滅が終了して点灯に変わってからスキャナーを使用してください。
- CaptureOnTouch Lite のメイン画面が表示されるまでは、給紙トレイを閉じないでください。
- Windows XP をお使いの場合、スキャナーの電源を入れたときにコンピューターの再起動を求めるメッセージが表示されることがあります。[いいえ] をクリックしてそのまま使用を続けても問題ありません。

3. CaptureOnTouch Lite を起動する

Windows

スキャナーの電源が入ると、本機がストレージデバイスとしてコンピュータに認識され、[自動再生] 画面が表示されます。

- 1 [フォルダーを開いてファイルを表示] をクリックします。



[ONTOUHLITE] フォルダーが開きます。

- 2 [ONTOUHL.exe] をダブルクリックします。
CaptureOnTouch Lite が起動し、メイン画面が表示されます。

[自動再生] 画面について

- お使いの環境によっては [自動再生] 画面が表示されないことがあります。Windows エクスプローラーなどで「ONTOUHLITE」と表示されているドライブを開き、ONTOUHL.exe を直接ダブルクリックして起動してください。
なお、OS によってはドライブ名「ONTOUHLITE」が表示されないことがあります。ONTOUHL.exe が存在するドライブを開いて直接起動してください。
- OS によっては、[自動再生] 画面に [CaptureOnTouch Lite] が表示されることがあります。この場合は [CaptureOnTouch Lite] をダブルクリックして CaptureOnTouch Lite を起動できます。

Mac OS X

スキャナーの電源が入ると、本機がストレージデバイスとして認識され、[ONTOUHLITE] フォルダーと [CaptureOnTouch Lite for Mac] フォルダーがデスクトップに表示され、[CaptureOnTouch Lite for Mac] フォルダーが開きます。



- 1 [CaptureOnTouch Lite Launcher] アイコンをダブルクリックします。

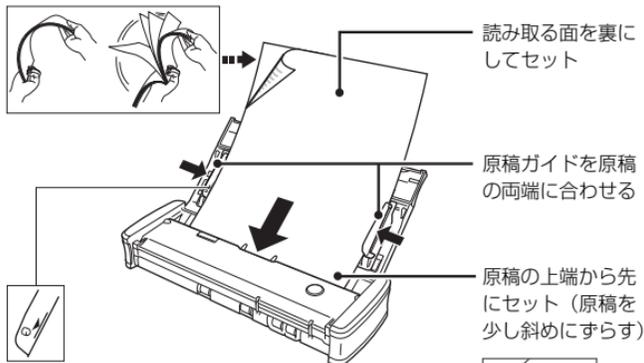
CaptureOnTouch Lite が起動し、メイン画面が表示されます。

❗ 重要

CaptureOnTouch Lite を動作させるには、[CaptureOnTouch Lite for Mac] と [ONTOUHLITE] の両方のフォルダーがマウントされている必要があります。

4. 原稿をセットする

セットする前によくさばく



原稿をつめの下に押し込む
一度にセットできる原稿の枚数は
20枚まで（原稿ガイドの
▼マークを超えないように）

スキャンできる原稿の条件

幅：50.8～216 mm (2～8.5")

長さ：70～356 mm (2.756～14")

厚さ：52～128 g/m² (0.06～0.15 mm)

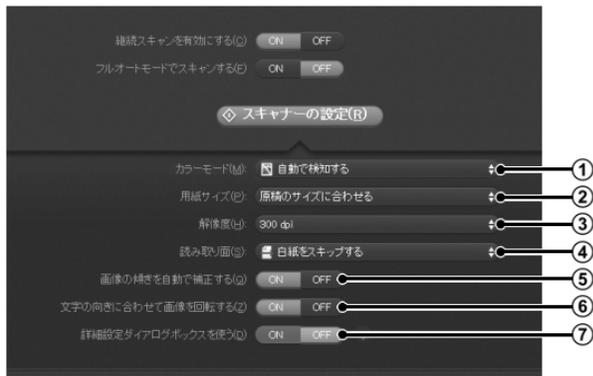
原稿によっては、スキャンすると紙詰まりや故障の原因となることがあります。詳しくは『ユーザーマニュアル（機能詳細編）』（同梱のセットアップディスクに収録）を参照してください。

5. スキャン方法を設定する



- ① 複数ページの原稿を分割してスキャンするときは、[連続スキャンを有効にする]の[ON]をクリックします。本書では[OFF]でスキャンする方法を説明します。[ON]にしたときの操作については『ユーザーマニュアル（機能詳細編）』（同梱のセットアップディスクに収録）を参照してください。
- ② スキャン条件を設定するときは、[フルオートモードでスキャンする]の[OFF]をクリックします。（→11ページ）

スキャン条件を設定する



【フルオートモードでスキャンする】の【OFF】をクリックすると、【スキャナーの設定】ボタンが表示されます。【スキャナーの設定】ボタンをクリックすると、スキャン条件の設定項目が表示され、カラーモードや解像度など基本的なスキャン条件を設定できます。

- ① 原稿をスキャンするモード（24ビットカラー、グレースケール、白黒）を指定します。カラーモードを自動判別してスキャンするときは【自動で検知する】を指定します。
- ② 原稿の用紙サイズを指定します。
- ③ スキャンの解像度を指定します。
- ④ 原稿のスキャンする面（片面または両面）を指定します。【白紙をスキップする】を指定すると、原稿中の白紙ページを飛ばしてスキャンします。
- ⑤ スキャン画像の傾きを検知してまっすぐに補正します。
- ⑥ スキャン画像上の文字の向きを認識し、文字が正しい向きになるように画像を回転して保存します。

- ⑦ スキャン条件をより詳細に設定します。詳細は『ユーザーマニュアル（機能詳細編）』を参照してください。

！重要

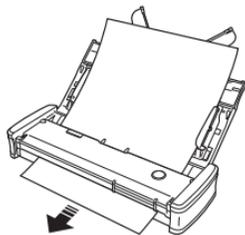
コンピューターのメモリーを大量に消費する条件でスキャンを行った場合、メモリー不足によりスキャンができなくなる場合があります。スキャン中にメモリー不足などのメッセージが表示されたときは、アプリケーションを終了させ、スキャン条件を変更してからスキャンをやり直してください。

6. 原稿をスキャンする

- 1** [スタート] ボタンをクリックします。
または、スキャナーのスタートボタンを押します。



- 原稿のスキャンが開始し、スキャンが終わった原稿が排紙されます。
- スキャンされた原稿が前から排出されます。スキャナーの手前に物を置かないようにしてください。



- 重送が起こる場合は、一度にセットする原稿の枚数を減らしてスキャンし直してください。
- 紙の質によっては、給紙時に異音が発生することがありますが、故障ではありません。

- 2** スキャン画像を保存します。



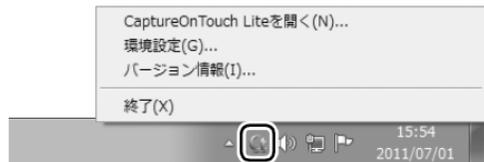
- ① ファイル名とファイル形式、保存先を指定します。
② [保存する] をクリックしてスキャン画像を保存します。

スキャンが終わったら……

1 CaptureOnTouch Lite を終了します。

タスクバーまたはメニューバーの CaptureOnTouch Lite アイコンをクリックし、表示されるメニューの [終了] をクリックします。

Windows

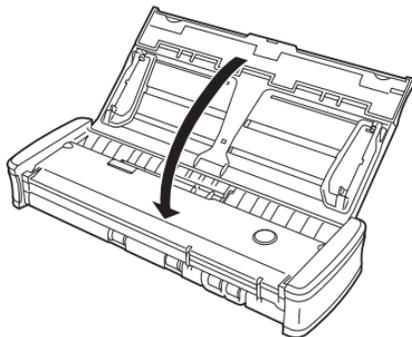


Mac OS X



2 (Mac OS X の場合のみ) [ONTOUHLITE] フォルダーと [CaptureOnTouch Lite for Mac] フォルダーを [ごみ箱] にドラッグ & ドロップします。

3 給紙トレイを閉じます。



4 USB ケーブルを抜きます。

トラブル Q & A

ここでは、お問い合わせの多いトラブルについて、その対処方法を説明しています。
問題が解決しないときは、お買い求めの販売店または 17 ページに記載されているサービス窓口にご相談ください。

Q1. 電源が入らない。

- A1. (1) 給紙トレイを閉じているときは、スキャナーの電源はオフになります。給紙トレイを開くと自動的に電源が入ります。
(2) USB ハブを経由してスキャナーとコンピューターを接続している場合は、USB ハブを取り外し、スキャナーとコンピューターを直接接続してください。

Q2. スキャナーが認識されない。

- A2. (1) スキャナーとコンピューターが USB ケーブルで正しく接続されていることを確認してください。
(2) スキャナーの電源が入っていることを確認してください。この前の「Q1. 電源が入らない」も参照してください。
(3) コンピューターの USB インタフェースがスキャナーに対応していない可能性があります。本製品は、すべての USB インタフェースでの動作を保証していません。
(4) 付属の USB ケーブルでスキャナーとコンピューターを接続していることを確認してください。市販の USB ケーブルによっては、スキャナーに対応していないことがあります。
(5) USB ハブを経由してスキャナーとコンピューターを接続している場合は、USB ハブを取り外し、スキャナーとコンピューターを直接接続してください。
(6) スキャナー背面の Auto Start スイッチの位置が「ON」になっているときは、スキャナー内蔵の CaptureOnTouch Lite でしかスキャンできません。この場合、コンピューターのアプリケーションからスキャンすることはできません。
(7) Windows で使用しているときは、デバイスマネージャを開いて、本機の表示に「?」、「!」、「×」マークが表示されているときは、デバイスマネージャ上で本機を削除し、スキャナードライバーを再インストールしてください。

Q3. CaptureOnTouch Lite が起動しない。

- A3. (1) スキャナー背面の Auto Start スイッチの位置が「OFF」になっていると、スキャナー内蔵の CaptureOnTouch Lite を起動できません。いったん給紙トレイを閉じてスキャナーの電源をオフにし、Auto Start スイッチを「ON」に切り替えてください。
(2) セキュリティソフトによって USB デバイスへのアクセスが禁止されている場合、CaptureOnTouch Lite が使用できないことがあります。

Q4. 原稿が斜めに給紙される（スキャン画像が斜めになる）。

- A4. (1) 原稿ガイドをできるだけ原稿にぴったりと合わせて、まっすぐ給紙されるように原稿をセットしてください。
(2) スキャナードライバーの設定で「画像の傾きを自動で補正する」（または「斜行補正する」）を有効にしてください。
(3)すでに大量の枚数をスキャンしている場合は、ローラーと分離パッドを清掃してください。それでも原稿が斜めに給紙される場合は、ローラー交換などのメンテナンスが必要です。ローラーの清掃および交換については『ユーザーマニュアル(機能詳細編)』を参照してください。
(4) 分離パッドがしっかり取り付けられているかどうかを確認してください。
(5) スキャナーの構造上、完全にまっすぐにはスキャンできないことがあります。

Q5. スキャン画像に白線 / すじが発生する。

- A5. 読み取りガラス（表面と裏面の両方とも）やローラーを清掃してください。糊や修正液など粘着性のある汚れを清掃するときは、線の現れる場所をやや強めに拭いてみてください。清掃後も問題が解決しない場合は、内部ガラスにキズが付いている可能性があります。お買い上げの販売店または担当サービス窓口にお問い合わせください。

Q6. 原稿が詰まる（または重送する）。

- A6. (1) 給紙ローラーと分離パッドが正しく取り付けられているかを確認し、必要に応じて清掃してください。
(2) 原稿が静電気などにより密着すると正常にスキャンできません。よくさばいてからセットしてください。

Q7. スキャン中にメモリー不足になり、スキャンできなくなった。

- A7. コンピューターのメモリーを大量に使用するようなスキャン条件では、メモリー不足によりスキャンができなくなる場合があります。コンピューターに搭載されているメモリー容量によりますが、下記の条件が重なるに従ってメモリー不足になる可能性が高くなります。
- [カラーモード] を [24ビットカラー] にする
 - [用紙サイズ] で大きな用紙サイズ（リーガルなど）を指定する。または [最大サイズ] にする
 - [解像度] で高い解像度（600dpi など）を指定する
- スキャン中にメモリー不足などのメッセージが表示されたときは、アプリケーションを終了させ、スキャン条件を変更（たとえば、解像度を低くする、用紙サイズを小さくするなど）してからスキャンをやり直してください。

Q8. 給紙時に異音がる。

- A8. 原稿の紙の質によっては、給紙時に異音が発生しますが、故障ではありません。

より詳しい情報

ユーザーマニュアル（機能詳細編）（PDF 形式の電子マニュアル）



スキャナーの取扱説明書です。PDF 形式でセットアップディスクに収録されています。セットアップディスクからコンピューターにインストールされます（Windows のみ）。セットアップディスク内の PDF ファイルを直接開いて見ることもできます。

ヘルプ（CaptureOnTouch、スキャナードライバー）



CaptureOnTouch およびスキャナードライバーには、設定項目についての詳細を説明したヘルプが用意されています。CaptureOnTouch のヘルプは、タスクバー（またはメニューバー）の CaptureOnTouch アイコンをクリックし、表示されるメニューの [ヘルプ] をクリックすると開くことができます。スキャナードライバーのヘルプは、スキャナードライバーの設定画面上の [ヘルプ] ボタンをクリックして参照できます。

保証とアフターサービス

■ この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

消耗品（給紙ローラーと分離パッド）については、保証期間内であっても保証の対象とはなりません。

■ 修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、お買い上げの販売店または『ユーザーマニュアル（機能詳細編）』に記載されているサービス窓口へご相談ください。

■ 修理を依頼される前に

本書 14 ページ、および『ユーザーマニュアル（機能詳細編）』（同梱のセットアップディスクに収録）の「トラブルシューティング」にそって故障かどうかをお確かめください。それでも直らない場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■ 修理を依頼されるときに、ご連絡いただきたいこと

- お客様のお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■ 補修用性能部品について

保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後 5 年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

修理受付窓口

保証内容や修理についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店または、キヤノンサービスセンターへお問い合わせください。サービスセンターについての詳細は、『ユーザーマニュアル（機能詳細編）』または弊社 Web ページを参照してください。

サービス&サポートのご案内

■ お客様相談センター

取扱い方法および修理に関するご相談は、お買い上げ頂いた販売店または下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター
全国共通電話番号



050-555-90072

受付時間：＜平日＞ 9:00～12:00 / 13:00～17:00

（土日祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。）

※ 上記番号は 050 から始まる IP 電話（株式会社エヌ・ティ・ティ・エムイー（NTT-ME）の XePhion Call Direct）を利用しています。

NTT の固定電話（一般回線）から地域・時間帯にかかわらず同一通話料金（10.4 円 / 3 分）でご利用になれます。

※ 携帯電話・PHS をご利用の場合、ご契約先携帯電話事業者の定める通話料金となります。詳しくはご契約の携帯電話事業者にお問い合わせください。尚、一部の PHS からはご利用いただけませんのでご了承願います。

※ お客さまが 050 から始まる IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。IP 電話からのご利用は、IP 電話事業者間の接続状況によります。NTT-ME の XePhion Call Direct の上記番号との通話（接続）可否については、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。IP 電話からつながらない場合の事象（話中音、アナウンス、ブザー音など）はプロバイダーによって異なります。

また、IP 電話の相互通話であっても上記番号との通話料金はプロバイダーによって異なります。詳しくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

※ 上記番号におかけになってもつながらない場合は、NTT の固定電話（一般回線）からおかけいただくか、043-211-9156 におかけくださいますようお願いいたします。

※ お客様相談センターの詳細につきましてはキヤノンホームページ（<http://cweb.canon.jp/e-support/rc/>）をご参照ください。

■ 消耗品の入手方法

消耗品はお買い上げ頂いた販売店、お近くのキヤノン製品取扱店およびキヤノンマーケティングジャパン（株）販売窓口にてご購入ください。尚、ご不明な場合はお客様相談センターにご相談ください。

■ キヤノンホームページ <http://canon.jp/>

※ <http://canon.jp/support> では、製品情報、最新ドライバーのダウンロード、QA 検索などの情報が掲載されています。是非ご利用ください。

※ ホームページのレイアウトは、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ 通信料はおお客様のご負担になります。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6 CANON **S**TOWER



CE-IJ-866

PUB.CE-IJ-866

xxxxxxx

© CANON ELECTRONICS INC. 2011

PRINTED IN JAPAN